

物品の機能を果たすために必要な表示を行う画像の例

物品の表示部に表示される画像が、以下の（i）及び（ii）の要件を満たす場合のみ、物品の機能を果たすために必要な表示を行う画像と認められます。

（i）その物品の機能を果たすために必要な表示を行う画像であること

（ii）その物品にあらかじめ記録された画像であること

（意匠審査基準 74.1.1 / 74.1.2 より）

1 意匠登録第 1 5 2 6 6 7 9 号

介護支援情報表示機

【登録番号】 意匠登録第 1526679 号

【出願日(出願基準日)】 2014.11.27

【分類】 H7-6243 W

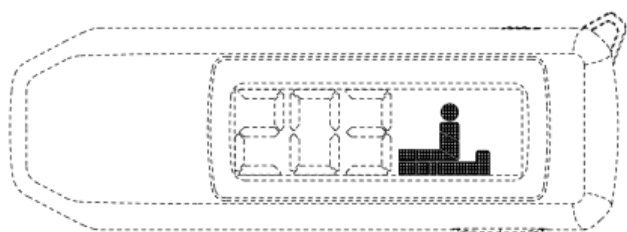
【意匠に係る物品】 介護支援情報表示機

【意匠に係る物品の説明】 本物品は、被介護者の状態(例えば、離床、端座、座位、転倒などの姿勢)を示す情報を、被介護者を特定する情報(例えば、部屋番号やベッド番号)と共に表示する情報表示機である。「画像表示領域に表示された画像拡大図」に示す画像は、被介護者が座位であることを示す情報など、介護支援情報表示機の機能を果たすために必要な表示を行う画像である。「変化した状態を示す画像拡大図1~4」は、各々、被介護者の状態(姿勢)または介護支援情報表示機の状態に応じて表示される画像の変化の状態を示したものである。

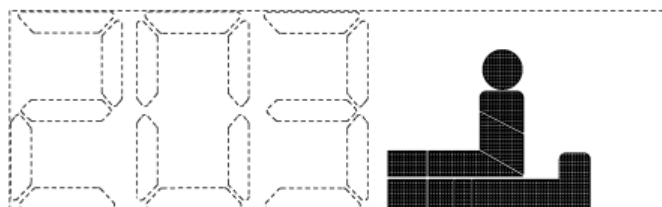
【意匠の説明】 実線で表した部分が部分意匠として意匠登録を受けようとする部分である。

【部分意匠】

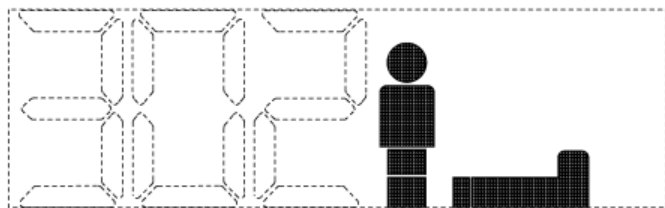
【正面図】



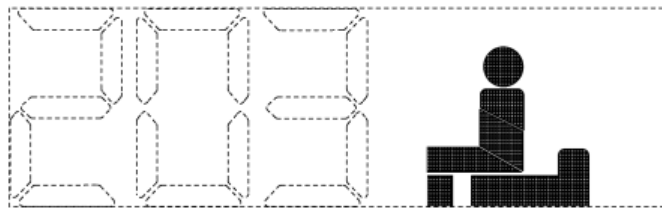
【画像表示領域に表示された画像拡大図】



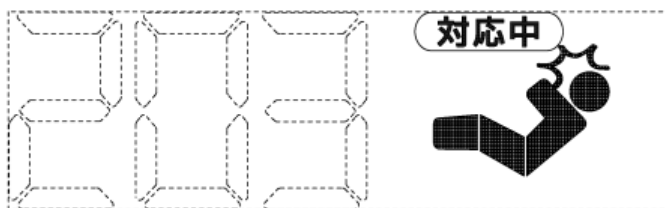
【変化した状態を示す画像拡大図 1】



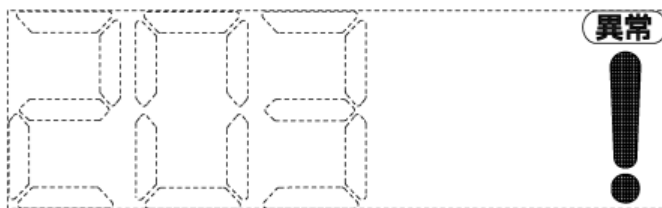
【変化した状態を示す画像拡大図 2】



【変化した状態を示す画像拡大図 3】



【変化した状態を示す画像拡大図 4】



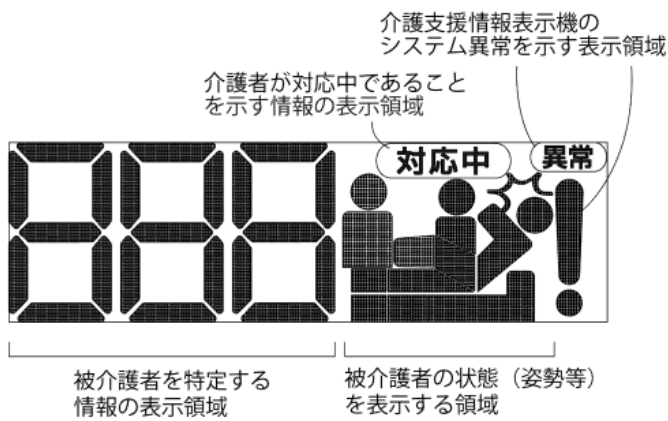
【左側面図】



【平面図】



【画像表示領域に表示された画像の各部の名称を示す参考図】



【各部名称を示す参考図】

